広報ふじ

（毎月1日発行）

静岡県富士市平垣279番地
発行所　富士市役所
発行人　富士市長　遠藤脩治
印刷所　加藤印刷所
No. 59
昭和35年6月1日発行

人口の動き

人口総数	45.738	男	22,899
世帯数	8.826	女	22,839
転出	334	出生	275
転入	510	死亡	26

	富士	田子	岩松	計
婚姻	44	16	8	68
離婚	0	1	0	1
死産	6	0	0	6

（昭和35年5月1日現在、住民登録による）

八月末までに完成

富士鷹岡線の立体交差

立体橋に21基の水銀灯が点灯

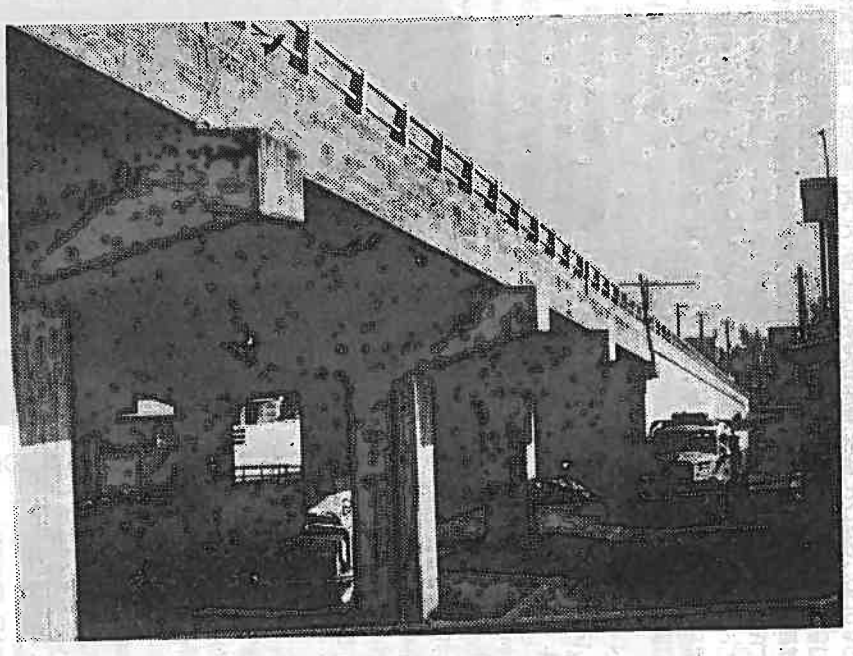
都市計画路線であります、富士鷹岡線の立体交差事業は、当初の計画より幾分おくれましたが、いよいよ今夏八月末完成をめざし突貫工事が進められています。

この事業は総工費約一億五千五百五十万円で昭和三十二年度より着工し東海道本線を橋巾十米（有効巾員九米）の立体橋で横断、これに西側に側道四米と東側に側道四米が取付けられ更に立体橋部分には工費二百二十万円をもつて高圧水銀灯二十一基が点灯されることになつています。

これが完成後は、駅北と駅南をむすぶ重要幹線道路として市民の交通の利便はもとより産業の進展に資するところが大きい。これでまた富士市に名物が一つ増えることになります。

月間天気予報

ことしのつゆは早目で雨量は例年なみか少なめ、梅雨前線は一時活潑になり多量に降るところもある気温は上旬と二十日前後に低くその他は高めの日が多い。



近く完成する富士鷹岡線の立体橋

彈丸道路を東海道へ

私達の関心と世論で

一級国道一号線、これが東京と大阪を結ぶ国道の正しい名前です。この東海道を走る自動車の数は年々増加の一途をたどり、静岡市では一日で一万三千台となつています。つまり三秒間に一台の割で自動車が走つているのです。最近では車の数が多くなつただけでなく、車自体が非常に大きくなつています。

このような状態ではいくら道路を工事しても一本の国道でふくれあがつた交通量を支えることはとても困難です。交通量が現在のまま伸びていくと昭和四十年には東海道は完全に麻痺するといわれています。おまけに今の国道は十トン以上もある大型トラックから自転車まで、早い車も遅い車も同じ道路にひしめいているのです。

従つて自動車のスピードもおち東京、名古屋間を昭和三十三年に九時間でゆけたものが昭和四十年には十一時間もかかることになります。痛々しい交通事故や交通のマヒ状態を解消する為にも自動車専用の道路をもう一本作ることが必要です

またこの東海道高速自動車道路は静岡県の産業全体の構造をかえるほどの大きな力をもつています。総合的な静岡県の産業発展、ひいては日本の経済力向上のためにはまず産業の動脈すなわち、近代的な道路――それも徹底的にスピード化された……がなければなりません。静岡県は隣県神奈川、愛知と共同してこの高速道路の実現のため一生懸命促進運動を進めています。しかしなんといつてもこの運動を支え押し進めていくのは私達の関心と世論の盛り上りです。私たち多勢の力で必ずこの高速道路を作り上げましょう。

働く年少者の生活文を募集

働く少年少女のみなさんから今年も次の規定で第九回働く年少者の生活文を募集します。すすんで応募して下さい。

▼規定―働く生活にはいろいろな出来ごとや、よろこび、苦しみなどがあることでしょう。その中で特に今回は職場や職場以外で、①みんなが仲良く働いていくためにこんなことをしよう。こんなことをしてほしいとか、②わたくしの友だち仲間について「それをもつと良いものにするにはどうしたらよいか、③わたくしの働く生活からなどを一つえらびこれを中心にみなさんが日ごろどんなことを考え、希望するかありのまま書いて下さい。（昨品は未発表の自作に限ります）

▼原稿の長さ―四〇〇字詰原稿用紙五枚以内

▼応募資格―十八才未満で働いている少年少女です。

▼応募方法―氏名（ふりがな）生年月日現住所を明記し勤務先の名称、所在地、産業の種類と自分のしている仕事の種類生活文の募集を何んで知つたかを書いて下さい

▼締切―六月十日

▼送り先―静岡市追手町七七静岡婦人少年室

社会事業に寄附

昭和三十五年四月以降に社会事業資金として寄附者に対し謹んで謝意を表します。

金　参百円　富士高生
金　壱万円　宮川　武夫殿
金　参万円　藤　間　牧田荒太郎殿
金　　本市場新田　時田　りん殿

利用されている

簡易保険の積立金

皆様のお家で加入している簡易保険や郵便年金の保険料や掛金は、一人一人では少額でも、全国では巨億の額に達しています。

この巨額の積立金は、地方公共団体の事業、住宅金融公庫、農林漁業金融公庫の運用資金等に利用されています。

その内、富士市における運用状況は本年五月末日現在で次の通りです。

学校建設費	二一、四二九千円
公営住宅建設費	一〇、〇五〇千円
簡易水道建設費	六七一千円
港湾河川改修費	三五、一八二千円
と場改築整備費	三、三八八千円
合計	七〇、七一〇千円

この外に市財政調整資金として短期の融資をしております。

なお、郵便局では、簡易保険は国民の経済生活の安定と加入者の福祉増進をはかることを目的としており、かつ市内の各種団体、及び婦人会、青年団等その自主的活動を助長し明るい町づくりに役立たせるため団体割引や団体貸付の制度もありますので充分活用されますようお願いします。

（富士郵便局）

役員きまる

社会福祉協議会

富士市社会福祉協議会は、去る四月十二日開かれました総会で本年度事業および理事など役員を選出しましたが、五月十七日第一回理事会を開き互選の結果、次の通り役員を次めました。

会長	漆畑　五六
副会長	加藤　伊作
〃	秋山　てる
理事	萩原　芳作
〃	八木　安一
〃	佐野　寛郎
〃	芝田幸太郎
〃	加藤　玉英
〃	後藤　武雄
〃	熊王　藤一
〃	吉田　静雄
〃	牧野　たつ
〃	福島　くら
〃	彭山　てる
〃	湯山　芳三
〃	伊藤　周三
常務理事	塩川　辰義
〃	滝川　隣竜
監事	島居　一好
〃	渡辺　三三
〃	野中　俊雄

事業所　統計調査に
商　業　ご協力下さい

6月1日全国一斉に実施さる

◇事業所統計調査◇

事業所統計調査は、統計法にもとづき指定統計第二号として行なわれる国の基本的な調査で、三年ごとに実施されており、今回の調査は第六回のものです。事業所統計調査は六月一日現在で人々が働いているすべての事業所の状況を全国にわたつて調査し、これによつてわが国の産業構成のありさまや産業活動体の増減などを明らかにし中央や地方の経済施策に役立てるほか別のいろいろな統計調査の基礎材料にもするものです。

◇商業統計調査◇

商業統計調査は、本年六月一日現在で事業所統計調査と同時に行なわれます。本調査は二年目ごとに実施され今回は第五回目の調査であります。

調査の内容は甲、乙、丙調査の三種類にわけられ、

1 **甲調査**は、法人組織の商店および常用労働者（雇人）を使用している個人経営者の商店について行ないます。

2 **乙調査**は、常用労働者を使用していない個人経営の商店について行ないます。

3 **丙調査**は、飲食店について行ないます。

ご承知の通り本調査は、わが国の商業事業所の分布状況、商業活動などについて、その実態を明らかにすることを目的としています。

またこの調査結果は中央、地方官庁の行政資料としてあるいは各業界における経済資料として広く利用されているものであります。

以上のような調査の目的を十分に了解され、御多忙中まことに恐縮ですが、この二つの調査に御協力下さることをお願いする次第であります。（総務課）

広報こよみ

6月

▽電波の日（一日）マスコミにおける電波媒体の役割などを啓発すると共にアマチュア無線局の違反等についても反省を促す

▽気象記念日（一日）気象庁の機構や精度をあげた予報活動などを紹介して一般の理解を促す

▽計量週間（一日―七日）七日は計量記念日、生活のあらゆる面での、メートル法の完全実施を訴える。

▽納税者の声を聞く旬間（一日―十日）は国税庁の誕生日、納税民主化のため旬間中、納税者の苦情を積極的に聴取する

△特別貯蓄運動（一日―七月初旬）六月のボーナス期に当たつて全金融機関は特別貯蓄を呼びかける。

▽歯の衛生週間（四日―十日）ムシ歯退治を重点に、ことしも母と子のよい歯のコンクールが行なわれる。

▽吉原祇園祭（十一日―十四日）

▽全国安全運動（十一日―二十日）正しい歩行の励行、児童通行の保護、安全運転など注意点を強調する。

五月一日から六月三十日まで
契約高二兆円達成促進
第三次簡易保険新加入運動実施中
主催　富士郵政
協賛　富士郵便局
大蔵省
貯蓄増強中央委員会
富士市

第二次陸海空自衛官募集　志願受付6月1日～7月11日　試験　7月28日（木）沼津　7月30日（土）富士宮　詳細については市役所総務課へ。

この広報は、市政のようすを市民の皆さんにお知らせするために、毎月一回発行して全世帯にもれなく配布しています。とじ込んで保存しておくと便利です。